



特定非営利活動法人

# 防災士会 みやぎ

MIYAGI BOUSAISI ORGANIZATION

Vol.11  
2018.2



- 理事長挨拶
- 「ぼうさいこくたい」  
(防災推進国民大会 2017)
- 「WORLD BOUSAI FORUM」開催
- 「せんだい防災パビリオン」参加
- 防災士会みやぎ・主な活動報告
- 会員の交流
- 日本防災士会東北支部  
防災計画推進会議・連絡協議会開催
- 豆知識
- 入退会者のお知らせ



➤ 地区防災計画の推進に向けて

菊地正衡 理事長



新年あけましておめでとうございます。理事長の菊地でございます。昨年支部創立10周年の記念式典・祝賀会を開催することができました。先人のみなさまそして会員みなさまのご尽力に感謝申し上げます。本年も地域住民の方が安全で安心して暮らせる街づくりに少しでもお役に立ちたいと考えております。引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

昨年、日本防災士会の理事に就任し東北6県の地区防災計画推進担当になりました。「地区防災計画」は東日本大震災の教訓から平成26年4月「地区防災計画制度」がスタートしました。日本防災士会では、活動の重点目標に掲げ、各支部に地区防災計画推進部長を配置し、各支部ごとに「地区防災計画策定支援」を行うことといたしました。これを受け、当会としても支援する自主防災組織等のモデル地区を選定し、積極的に取り組んでいきたいと考えております。是非、会員みなさまのご協力をお願いいたします。1月17日は「阪神淡路大震災」から23年が経ちました。忘れずに備えましょう。

『ぼうさいこくたい(防災推進国民大会2017)』  
『WORLD BOSAI FORUM』 開催

平成29年11月26日(日)～27日(月)仙台国際センターを会場に『ぼうさいこくたい』が開催されました。当会では「展示ブース」に出展し、災害の語り継ぐことの重要性を気仙沼市の「リアス・アーク美術館」からお借りしている「明治三陸大津波の風俗画」ともう一つのテーマとして幼児期における防災教育について減災絵本リオンの活動を展示しました。

隣では国際防災フォーラム会場で防災復興大臣のインタビューが行われたりと海外の方々も多く見学に来ました。ペルーの方や台湾の方からは「リオン」の英語版が欲しいと要望がありました。これも検討すべき課題だと思っております。最終日には、東北放送から取材を受け、テレビ放映されました。

一方、「ぼうさいこくたい」の仙台市のブースである「せんだい防災パビリオン」会場：地下鉄東西線国際センター駅2階のミニステージでは減災絵本「リオン」の読み聞かせを午前、午後各1回実演しました。多くのお子様連れ家族の方々に来ていただきました。

(2ページに続く)



【取材に応じる菊地理事長】



【リオン会場の様子】



【展示説明する阿部さん】



➤ 『地区防災計画推進部長』として

副理事長 児玉敏行



明けましておめでとうございます。平成29年度も会員の皆様には、本会運営へのご協力及び防災活動にご尽力を頂き心より感謝申し上げます。

さて、日本防災士会では昨年内閣府との相互協力の基に地域防災コミュニティづくりが急務として「地区防災計画の推進」を最重要課題とし、新たに地区防災計画推進のため基本方針を定めました。東北ブロックの地区防災計画推進担当理事に本会菊地理事長が任命され、都道府県各支部に地区防災計画推進部長(私が拝命)を置き各支部は最低1カ所以上の「推進モデル地区」を設定し推進体制を強化する事となりました。難しい課題では有りますが、防災士会みやぎとしても日本防災士会の一員として、また地域コミュニティの防災力向上を進める事からも積極的に活動して参りたいと考えて居りますので、会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

『せんだい防災パビリオン(ミニステージ)』 (国際センター駅2階)

■ミニステージは様々な団体が子供向けのプログラムを行いました。当会は減災絵本「リオン」の読み聞かせを午前は佐藤亜矢子さん、午後は黒田典子さんにて1回ずつ行いました。両名の読み手は、「自分の命は自分で守る」ことを、リオンを通じて子どもたちへ伝えました。

この日、佐藤さんは読み聞かせデビュー！本番直前まで客層がわからない難しい状況でしたが初々しくかつ大胆に読み聞かせを行いました。今回の読み聞かせは女性となりましたが、読み手が「女性・男性」、「熟練者・初心者」と違っていても、子どもたちには関係がありません。男性が読み聞かせを行っても“違和感”がないものかと疑問がありました。昔話や読み聞かせを長年続けている方に“違和感”について確認をしました。答えは「その心配は全くないですよ」とのことでした。子どもたちは、その時々読み手を素直に受けとめてくれるのだそうです。つまり、リオンは誰でも読み手になることができるのです。読み手になる不安・思い込みより、子どもたちへの向き合い方に挑戦してみませんか？きっと新たな出会いと発見があります。(読み手募集)

(By: 林美千夫)



佐藤亜矢子さんの読み聞かせ



黒田典子さんの読み聞かせ

➤ 近畿大学生の訪問を受ける

12月1日(金)13:00からみやぎNPOプラザに近畿大学の学生5人の訪問を受けました。法学部3年の松本尚哉さんをリーダーに東日本大震災の被災地を視察し被災地のNPOの活動等について卒業論文にまとめたいとゼミメンバーでやってきたとのことでした。

当会からは菊地理事長と若生理事2名で対応しました。

減災絵本「リオン」が大阪で広く活用されていることにも驚いていました。終了後、卸町にある別のNPOまで送って行きました。

4泊5日の仙台のゼミ旅行を無事に終えることができ、普段の授業では聞けない生の貴重な話を聞けたとお礼のメールをいただきました。少しでもお役に立てたとホッとしました。



【来仙した学生たちと菊地理事長・若生理事】



### ▶ 仙台長町紙芝居フェスティバルで共演

- ◆ 平成29年9月2日(土)仙台市太白区長町の笹谷街道界隈で毎年開催している仙台長町紙芝居フェスティバルに、仙台管区気象台からの声掛けで参加。仙台管区気象台制作の防災紙芝居、減災絵本「リオン」の紙芝居の読み聞かせを行いました。
- ◆ 他団体との共演交流もあり、魅せ方や読み方、アプローチの仕方(音楽とコラボ)なども学ぶことができました。ラジオの中継時刻とリオン上演が同時刻となり、お笑い芸人ムーディー勝山さんとの絡みもありました。



【読み聞かせをする黒田さん】

### ▶ 登米市みなみかた秋まつりに参加

- ◆ 平成29年10月28日(土)登米市南方町「みなみかた秋まつり」に防災指導をして欲しいとの依頼があり参加しました。依頼は①サバメシの実演指導、②減災絵本リオンの読み聞かせ、③AED応急手当訓練です。会場は「南方農村環境改善センター」を主会場に秋晴れの大変良い天気にも恵まれ大勢の方々が参加されました。
- ◆ サバメシづくりは、屋外で実施。参加した小学生はマッチの使い方が分からず、また大人もご飯の炊きあがり具合がわからないなど貴重な体験をしていただきました。



【サバメシを指導する林さん】

### ▶ 防災研修開催

山元町新防災拠点「山下地域交流センター」施設見学と気象キャスターネットワーク防災・気象イベントに協力参加

- ◆ 平成29年11月11日(土)当会の研修事業として山元町新防災拠点である「山下地域交流センター(つばめの杜ひだまりホール)」の見学と気象キャスターネットワーク(WCN)が主催する防災・気象イベントに協力参加しました。当会会員の阿部清人さんの「防災エンショー」もあり大変楽しく研修できました。
- ◆ 当会からも大勢の会員が参加し、新しくオープンしたばかりの施設を積極的に視察しました。この施設は、建物自体が避難所となっており、各部屋が通常時と非常時で違う役割となる。ベンチコンロ、マンホールトイレ、赤い非常電源コンセントなど、そのエピソードがまた感心しました。防災を語るうえで見学することを是非お勧めします。



【研修前のオリエンテーション】

### ▶ 全国公民館研究集会・東北地区社会教育研究大会にブース出展

- ◆ 平成29年10月30日(月)仙台国際センターで開催された第39回全国公民館研究集会・東北地区社会教育研究大会・東北地区公民館大会宮城大会にブース展示を行いました。減災絵本「リオン」を子供向け防災教育ツールとして紹介しながら販売促進のため参加しました。



### ▶ 福住町総合防災訓練に参加

平成29年11月12日(日)仙台市宮城野の福住公園で、福住町の防災訓練が行われました。福住町の防災訓練は「福住式」として全国的に知られており、自衛隊やJAF等、多くの協力のもと実践的な訓練がおこなわれています。当会からは女性部会の繁野みどりさん、若生彩さんがサバメシコーナーを開設。アルミ缶で牛乳パックを燃料に炊飯する方法を指導。お吸い物の素を入れた炊込みご飯は大変好評で、追加で2回目のサバメシ作りも実施。子どもたちを中心に、視察に訪れた県内外の多くの方に体験してもらいました。



【指導する繁野さんと若生さん】

### ▶ 東大崎地区振興協議会防災訓練で防災講話

平成29年10月15日(土)東大崎公民館にて防災講話を行った。最初に「ミサイル発射時の行動について」、内閣官房国民保護ポータルサイトの資料を基に、着弾時の暴風や破片などから身を守る方法を説明した。屋外にいる場合、建物がない場合、屋内にいる場合の身を守る等を説明し、最後に実際に身を守る姿勢をとる練習も行いました。その後、メインの「昨今の異常気象に係る水害対策について」講話を行いました。講話前には、被害者状況伝達訓練、応急手当訓練、土嚢訓練、水害時の歩行訓練、炊き出し訓練なども行いました。



【講師の高橋 健一さん】

### ▶ 大崎市地域婦人団体連絡協議会防災研修会に市長が参加

平成29年10月16日(日)大崎市地域婦人団体連絡協議会防災研修会に防災講話「家庭でできる防火・防災対策について」と題して防災講話を行った。【防火対策】は木立防災士が、【防災対策】は若生防災士と担当を振り分けて実施しました。当日は大崎市長も自ら出席し質疑応答に参加するなど大変内容の濃い防災研修会となりました。



### ▶ 大崎市視覚障害者情報交流会で防災講話を実施

平成29年10月22日(日)視覚障害者9名、支援者8名が参加する交流会で防災講話を行いました。東京都で始まった「ヘルプカード」に関心が集まりました。災害での様々な問題が発生した話などが聞け、障害者のための防災講話を防災士として考える良い機会でもありました。



【講師 高坂 一憲さんと補助者の阿部 馨さんが担当】

## 古川桜ノ目上区自主防災組織の防災訓練支援



◆平成29年11月5日(水)10:00~大崎市古川桜ノ目自主防災組織の防災訓練支援を行いました。約70世帯、江合川沿いの行政区で鳴子ダムが完成して以降、直接的な被害の体験もなく、東日本大震災でも大きな被害も少なかったようです。  
◆講話の依頼であり、テーマは2点、「ミサイル発射時の行動について」そして「水害対策について」話を行いました。最近では「ミサイル発射時の行動について」の依頼が多くなっています。内閣官房の国民保護ポータルサイトには避難行動に関する情報が掲載されていますので必見です。



【Jアラート訓練 拳で後頭部を守る】



【講師の大橋さん】



【ライフジャケットを説明する渡邊さん】

## 登米市立新田幼少中学校地域総合防災訓練支援(出前授業)

◆平成29年11月2日(木)伊豆沼、長沼に囲まれた高台にある幼稚園、小学校、中学校合同の総合防災訓練に参加しました。  
依頼内容は①減災絵本「リオン」の読み聞かせ、②クロスロードゲーム、③避難所運営ゲーム(HUG)であり、同時並行的に実施するため当会からは7名の会員の支援を行いました。  
消防署も煙道体験、消防自動車・救急車見学、心配蘇生法、ロープワーク、初期消火訓練を行い、また地元の婦人会の方々は災害救援用包装食袋(ハイゼックス)を使った炊き出し訓練を行いました。



【低学年対象のリオン読み聞かせ 講師の林さん、若生さん】



【クロスロードを指導する田中さん】



【高学年のHUG授業 鈴木さん、阿部さん】

## 会員の交流

◆各プロジェクトで活躍されているみなさんからイベントに参加しての感想や講演するにあたって心掛けていること、困ったこと、やって良かったことなどを自己紹介を交えて書いて頂きます。

大崎市鹿島台  
鈴木 博行さん



一昨年度会員の仲間入りをさせて頂きました鈴木です。職業は自営業です。私は、2014年迄、地元の消防団員として35年間地域防災に携わってきました。これまで火災をはじめ、震災後の対応水害や行方不明者捜索など、数々の災害現場出動で培った経験を生かした内容の講話を心がけています。  
防災士としては、まだまだ未熟ですが会員の皆様方との出会いを楽しみにしております。よろしくお願ひします。



◎県北ブロック担当の理事として精力的に活動されています。



仙台市太白区  
桂嶋 勇孝さん

◎宮城県防災指導員、仙台市地域防災リーダー(SBL)として町内会を始め幅広く活動されています。

大崎市の依頼で相貌バケツリレー訓練を指導する現場参加しました。従事者は横二列に並びジグザグリレーで手渡しするのである。この単純で楽で速いリレー搬送は、いざ本番で救援物資受け入れの際に大いに役立つことを知った。  
今後、防災士の立場で訓練指導を行うとき、頼まれもしないがこのリレー搬送のよさを付け加えようと思ってる。  
防災士になって2年少々、自らのさらなる勉強のため、各地に15回ほどの指導に参加した。仙台で多い防災フォーラムにも毎回欠かさず参加した。行くたびに新しいことを習得できた。あれもこれもつぶしのきく防災指導員に成長したいものと思っている。  
ことし80才になった。あと10年は現役防災士として活動するつもりでいる。

左側:桂島さん  
右側:大橋さん



栗原市志波姫  
久光 保夫さん



◎大崎市内の郵便局に勤務する傍ら地域の防災活動に積極的に参加していただいています。

大崎市と防災士会みやぎが、自主防の育成を目的に「防災指導員派遣委託契約」を結んでおります。荒谷郵便局の久光と申します。今年度から防災研修に参加し9地区に地元局長を含め延べ27人を派遣しました。住民の皆様から「地元の局長が防災士で安心、頼りになる」との声を頂き励みになっています。

手前は指導する久光さん



## ➤ 日本防災士会 東北6県 地区防災計画推進会議開催

12月9日(土)13:00からみやぎNPOプラザに於いて、日本防災士会主催の東北6県地区防災計画推進会議が開催されました。本部から松尾好将理事長、岡崎洋志研修部長が来仙しました。東北6県各支部長、地区防災計画推進部長等さらに当会の会員の方も大勢が参加し、各支部の取り組み状況や課題を共有し、2組に分かれてワークショップで課題等の抽出し発表しました。



【ワークショップで松尾理事長の講評】



【質問に立つ梅津山形県支部長(右)】

## ➤ 日本防災士会 東北支部連絡協議会開催

12月9日(土)11:00からみやぎNPOプラザに於いて、東北支部連絡協議会が開催されました。(連絡協議会会長は秋田県支部長の渡辺勝治氏)平成28年3月に第1回会議が仙台で開催されましたが、それ以来となる集まりで東北の広さを改めて痛感しました。

本会議では規約の改正等について議論し、会長は各県支部長が順番で持ち回りとするものの具体的な決定には至らず今後、メールにて意見を交わすこととしました。また、大規模災害時の相互援助協定についても議論されましたが、継続課題となりました。

当会は平成19年9月に青森県支部と災害時相互応援協定を締結しています。



### 豆知識

講演資料を作成して気づいたのですが、浸水ハザードマップが変わった?いや平成27年5月の水防法改正を踏まえ洪水浸水域の見直しが行われた。お気づきだったでしょうか?

- ① 「想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図」、
- ② 「計画規模降雨による洪水浸水想定区域図」、
- ③ 「想定最大規模降雨による浸水継続時間」

の3つを指定し公表するとしている。1,000年に一度の降雨?

### 入退会者のお知らせ

◆会報第10号発行以降の入退会者は以下のかた方です。

◆平成30年1月20日現在の会員数      正会員 114名      賛助会員 2団体

□入会者 《 3名 》

○H29. 5    上田 照雄さん    富谷市  
○H29. 12   千坂 裕春さん    仙台市青葉区  
○H30. 1    田口 義勝さん    仙台市太白区

□退会者 《 1名 》

○H29. 12 名取秀明さん    仙台市太白区

『みやぎ防災・減災円卓会議』に防災士会みやぎもメンバーの一員として参加し、東日本大震災を風化させないために何をなすべきかを毎月1回集まり議論しています。その企画の一環として『トライ!防災運動会』を今年6月23日(土)10:00~宮城教育大付属特別支援学校体育館で実施します。詳細は別途案内しますが、私たちがアイデアを出していきたいと考えます。

発行 特定非営利活動法人 防災士会みやぎ  
 発行者 理事長 菊地 正 衡  
 広報担当 理事 若生彩・理事 繁野みどり  
 連絡先 〒983-085 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
 みやぎNPOプラザ内 No.22  
 電話 080-1821-0335 (事務局直通)

○情報・ご意見はメールでお願いします。

[jimukyoku@bousaishi-miyagi.org](mailto:jimukyoku@bousaishi-miyagi.org)